平成27年4月30日東北電力株式会社東通原子力発電所

< お知らせ情報(C情報)に至らないごく軽度な機器故障>(月報) (機器の故障に起因する不適合事項(軽微なもの))

平成25年11月分(3月31日現在)

No.	発生日	 設 備	概 要		発生場所
1	H25.11.2	燃料交換機 (原子炉内からの燃料 取出しおよび装荷作業 等を行う装置)		処置済み	原建
2	H25.11.12	燃料交換機 (原子炉内からの燃料 取出しおよび装荷作業 等を行う装置)		処置済み	原子炉屋

非常用ディーゼル発電設備燃料系設備において、点検作業をする際に燃料を移送するポンプの出口圧力計の取外しができないことを確認した。原因調査の結果、当該出口圧力計の配管取付け部分に、さびが発生したため、固着したものと判断した。このため、出口圧力計が取付けられている配管を一式取替えるとともに、出口圧力計が取付けられている配管を一式取替えるとともに、出口圧力計が取付けた。原子炉補機冷却水系ポンプにおいて、点検後の復旧作業中に当該ポンプのメカニカルシールカバーへ筋のにじみを確認した。原因調査の結果、当該ポンプのメカニカルシールカバーへ筋から水のにじみを確認した。原因調査の結果、当該ポンプの組込み時にメカニカルシールカバーへ微かによれる対した。といる異物が噛み込んだことによるものと推定した。このため、当該メカニカルシールカバーの清掃を行い復旧するとともに、当該メカニカルシールカバーの清掃を行い復旧するとともに、当該メカニカルシールカバー取りがいるに対して、対象を対略を対した。このため、当該メカニカルシールカバーの清掃を行い復旧するとともに、当該メカニカルシールカバーの清掃を行い復旧するとともに、当該メカニカルシールカバー取りがいるには、対象を対象を対象を表して、対象を対象を対象を表して、対象を対象を表して、対象を対象を対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表して、対象を表し、表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、表し、対象を表し、表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、対象を表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、対象を表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表							
おきを送するポンプの出口圧力計の 取外しができないことを確認した。 原因調査の結果、当該出口圧力計の 配管取付け部分に、さびが発生した。 ため、固着したものと判断した。 このため、出口圧力計の取付け 部分が直接外気に触れないようビニールカバーを取付けた。 原子炉補機冷却水系ポンプのメカニカルシールカバーへ微のにじみを確認した。 原子炉補機冷却水系ポンプのメカニカルシールカバーへ微のにじみを確認した。 原子炉補機冷却水系ポンプのメカニカルシールカバーへ微のにじみを確認した。 原子炉補助設備に冷かが直接外気に触れないようどニールカバーを確認した。 原子炉補機冷却水系ポンプのメカニカルシールカバーへ微のにじみを確認した。 原子炉補助設備に冷かな異物が噛み込んだことによるものと推定した。 このため、当該メカニカルシールカバーの清掃を行い復旧するとともに、当該メカニカルシールカバーの				非常用ディーゼル発電設備燃料系設			
1		H25.11.18	設備燃料系設備 (非常用電源を供給す るための発電設備に燃	備において,点検作業をする際に燃	<u>処置済み</u>		
1				料を移送するポンプの出口圧力計の			
B				取外しができないことを確認した。			
R25.11.18				原因調査の結果,当該出口圧力計の			
A				配管取付け部分に,さびが発生した			ьl
料を供給する設備	3			<u>ため,固着したものと判断した。</u>		座	<u>ን</u> ቦ
				このため,出口圧力計と出口圧力計			
部分が直接外気に触れないようビニ				が取付けられている配管を一式取替			
-ルカバーを取付けた。				えるとともに,出口圧力計の取付け			
原子炉補機冷却水系ポンプにおいて、点検後の復旧作業中に当該ポンプのメカニカルシールカバーから水のにじみを確認した。 原子炉補機冷却水系ポンプの組込み時にメカニカルシールカバーへ微み時にメカニカルシールカバーへ微からな異物が噛み込んだことによるものと推定した。 治するポンプ) 「のため、当該メカニカルシールカバー取				<u>部分が直接外気に触れないようビニ</u>			
て、点検後の復旧作業中に当該ポンプのメカニカルシールカバーから水のにじみを確認した。 原子炉補機冷却水系ポンプ (原子炉補助設備に冷 おか(非放射性)を供給するポンプ) (原子炉補助設備に冷 治するポンプ) (原子炉補助設備に冷 治するポンプ) (原子炉補助設備に冷 治するポンプ) (のため、当該メカニカルシールカバーの清掃を行い復旧するとともに、当該メカニカルシールカバーの				<u>ールカバーを取付けた。</u>			
プのメカニカルシールカバーから水のにじみを確認した。 原子炉補機冷却水系ポンプの組込み時にメカニカルシールカバーへ微み時にメカニカルシールカバーへ微が強み込んだことによるもが、小な異物が噛み込んだことによるもが、独交換器がはあるポンプ)が一の清掃を行い復旧するとともに、当該メカニカルシールカバーの				原子炉補機冷却水系ポンプにおい			
A H25.11.26 原子炉補機冷却水系ポ 原因調査の結果,当該ポンプの組込 み時にメカニカルシールカバーへ微 小な異物が噛み込んだことによるも 如置済み 熱交換器 のと推定した。 このため,当該メカニカルシールカ バーの清掃を行い復旧するととも に,当該メカニカルシールカバー取		H25.11.26		て,点検後の復旧作業中に当該ポン			
原子炉補機冷却水系ポ 原因調査の結果,当該ポンプの組込 み時にメカニカルシールカバーへ微 小な異物が噛み込んだことによるも 如水(非放射性)を供 給するポンプ) このため,当該メカニカルシールカ バーの清掃を行い復旧するととも に,当該メカニカルシールカバー取				プのメカニカルシールカバーから水			
4 H25.11.26				のにじみを確認した。			
4 H25.11.26 (原子炉補助設備に冷 小な異物が噛み込んだことによるも 如置済み 熱交換器 却水(非放射性)を供 のと推定した。 このため、当該メカニカルシールカ バーの清掃を行い復旧するととも に、当該メカニカルシールカバー取			原子炉補機冷却水系ポ	原因調査の結果,当該ポンプの組込			
カ水 (非放射性)を供 のと推定した。			ンプ	み時にメカニカルシールカバーへ微		海	水
給するポンプ) このため,当該メカニカルシールカ バーの清掃を行い復旧するととも に,当該メカニカルシールカバー取	4		(原子炉補助設備に冷	小な異物が噛み込んだことによるも	処置済み	熱交	換器
バーの清掃を行い復旧するととも に,当該メカニカルシールカバー取			却水(非放射性)を供	のと推定した。		建	屋
に,当該メカニカルシールカバー取			給するポンプ)	このため,当該メカニカルシールカ			
				バーの清掃を行い復旧するととも			
/ / / / Ref. FT				に,当該メカニカルシールカバー取			
				付け時に異物がないことを確認する			
よう工事要領書に反映した。				よう工事要領書に反映した。			

			気象観測設備において,気象データ			
			が正常な値を示していなかったた			
			め,当該設備を確認したところ,記			
			録盤および気象測定器の電源が切れ			
			ていることを確認した。			
			原因調査の結果,当該設備の気象測			
		気象観測設備	定器付属ブロワのモータが経年劣化			
5	H25.11.30	(発電所構内の気象デ	により地絡したため,電源のヒュー	処置済み	屋	外
		ータを測定する設備)	ズが切れたものと推定した。			
			このため,当該ヒューズおよび気象			
			測定器付属ブロワを交換し復旧する			
			とともに,気象測定器付属ブロワの			
			点検内容の見直しおよび定期的にブ			
			ロワを取替えるよう工事仕様書に反			
			映した。			

・「不適合」とは,要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については,以下の 状況をいいます。

- ・対応中 :要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み:要求事項を満足する状態に復旧済みです。

今後,原因調査,対策等を講じます。

- ・処置済み:要求事項を満足する状態に復旧し,原因調査,対策等を実施済みです。 なお,今後,水平展開について検討・対応します。
- ・今月の更新箇所は下線で示しています。